

# 企業経営者と知事との意見交換会を開催しました!

公益財団法人かがわ産業支援財団は、今回で18回目となる企業経営者と知事との意見交換会を11月11日、香川県庁で開催 しました。

今回は、「ポストコロナに向けた企業経営」をテーマに、企業経営者11名(10社)の皆様にお集まりいただき、県からは浜田知 事、近藤商工労働部長、財団からは安松理事長、さらにオブザーバーとして県内中小企業の経営者8名が参加し、コロナ禍を契 機としたビジネス環境の変化に対応するための取組みや今後の展望などについて活発な意見交換が行われました。



# CONTENTS

# 2022年1月 vol.83 発行(年4回発行) かがわ産業情報21 1



【理事長新年のご挨拶】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
【トップニュース】 企業経営者と知事との意見交換会を開催しました!	2
【特集】	5
【支援事例紹介】 香川県よろず支援拠点 支援事例の紹介 香川県プロフェッショナル人材戦略拠点 支援事例の紹介	
【財団の活動】 令和3年度 かがの産業振興クラブセミナー 「どうする?わが社のDX」を開催しました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
令和3年度 地域資源販路拡大支援事業 「地域資源販路拡大商談会2021」を開催しました	9

「知的財産セミナー」を開催しました <b>10</b>
「知財マッチング in かがわ2021 web面談」を開催しました ·························10
「かがわ知財経営塾」を開催しました ···································
「令和3年度新かがわ中小企業応援ファンド等事業新商品発表会
〜Made in かがわ 新商品展示販売会2021〜」を開催しました ················· <b>11</b>
「機能性食品等開発研究会シンポジウム」を開催しました11
「微細構造デバイス研究開発フォーラム令和3年度セミナー」を開催しました11
【財団からのお知らせ】
「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」の令和4年度事業を募集しています 12
「かがわ糖質バイオフォーラム 第14回シンポジウム」を開催します12
【かがわ発!元気創出企業】
世界中の妊婦さんが安心して出産できるように――
ICTを活用した遠隔プラットフォームで
妊娠出産のさまざまな課題を解決。
メロディ・インターナショナル株式会社13

## 島産業株式会社

代表取締役 島 憲吾



官公庁向け環境プラント、家庭向けご み処理家電

これまで主に官公庁向けのごみ処理施設

の設計・施工を行ってきたが、家庭用生ごみ処理機という新商 品を開発して家電業界に進出した。新規事業を通して、社内に 積極的なムードが醸成され、社員のポテンシャルが非常に高ま るとともに、会社のブランド化にも役に立った。この新商品で世 界レベルのデザイン賞を目標に試行錯誤を繰り返したが、計員 と心を一つにして、かけがえのない時間を過ごすことができた。 今後は海外にも販路を広げていきたいと考えている。

#### ◆ ◆ 知事 ◆ ◆

コロナ禍で経営環境が厳しい企業が多い中で、ポストコロナ に向けた可能性を示していただいた。県やかがわ産業支援財団 では、新商品開発や新分野進出を目指す企業への助成制度を 設けており、さらに情報発信に努める。十数年に亘って果敢に 開発に取り組み、これからもさらに事業展開されるところであり、 全国の事業家の範としてご活躍いただきたい。

# 高松帝酸株式会社

代表取締役社長 太田 賀久

産業・医療用ガス製造販売、関連サー ビス

令和3年8月から希少糖の製造事業に参入

した。香川大学の研究センターの見学や希少糖製造技術者養成 講座の受講により、自社の高圧水素ガス取扱い技術が希少糖の生 産性向上に貢献できるのではと考えたことがきっかけであった。 技術的な課題を明確にした上で、異業種企業の技術者向けの講座 を計画的に行えば、希少糖に全く関係がないと思われた技術とも うまくマッチングができるのではないかと思う。また、当社では最 新の技術情報等を提供する無料セミナーを独自に開催している。

#### ◆ 知事

水素ガスの技術を希少糖産業に活かしていただいていることに 大変感謝している。希少糖産業は、香川県のいわば目玉となる産 業であり、その基盤形成に確実に取り組んでまいりたい。そのため、 多くの企業に希少糖の生産や試験研究に参入していただくことは 重要であり、引き続き、多様な業種の企業に働きかけを行いたい。

# 株式会社藪水産

代表取締役社長 船田 裕亮



天然生エビの加工に強みを持つ水産 品加工業

BtoC (消費者向け取引)への展開を図るため、

クラウドファンディングを活用して、海老専門のECサイトを立ち上げ た。また、フードロスに着目し、廃棄してきた海老の殻を活用した「海 老オイル」や「海老だし」を販売し、好評を得ている。近年の水揚げ 量の減少など国内の水産業は厳しい状況であり、水産資源を使った 持続可能な食品を全国に届けるため、IoTの導入によりコンテナを 用いた陸上養殖の取組みを検討しているので支援をお願いしたい。

#### ◆◆ 知事

廃棄していたものを活用して商品化するという、これまでにない 取組みに感銘を受けた。水産業は厳しい状況にあり、陸上養殖の取

組みが県内に浸透して改善することができれば大変ありがたい。経 営面や技術面など、県やかがわ産業支援財団が支援できることがあ ると思うので、詳しくご相談をいただければ、研究をしてまいりたい。

# 建ロボテック株式会社

代表取締役CEO 眞部 達也



建設現場省力化ソリューションの提供

「世界一ひとにやさしい現場を創る」をビ

ジョンに、建設現場における省力化を図ろうと、鉄筋の結束作 業を自動で行うことができるロボットを開発して、全国の工事 現場で使っていただいている。今後、海外展開を進めていく上 でも人材の確保が大きな課題である。優秀な人材を香川県にど んどん呼び込むことにより、香川県からロボット事業をはじめ新 しい産業を生み出すことができると思うので、そのための助成 金等の行政支援をお願いしたい。

#### 

建設現場での負担軽減に貢献いただいており、感謝申し上げる。 県では、東京23区等から移住して就業された方等に移住支援金を 支給する制度を設けている。企業への人件費支援は難しいが、デジ タル人材の確保について、Setouchi-i-Baseの実践的な講座やワー クサポートかがわのマッチングイベントを活用していただきたい。

# セトウチメーカーズ

広報責任者(タナカ印刷株式会社 代表取締役社長) 田中 英城



「ものづくりの聖地、瀬戸内」を志す

コロナ禍を契機に、これまでのOEM(相手先ブランドによる 生産)から脱却して自社ブランドを立ち上げようと、競合してい る会社や主力製品の異なる会社が垣根を超えて結集した。東 讃地域の縫製業を中心として始まった取組みであるが、現在は、 徳島、愛媛、岡山にも仲間が増えてきた。今後は、各社がファク トリーブランドとして自立し、瀬戸内地域の観光業の1つとして、 ものづくりの姿を直接見ていただく「ファクトリーツーリズム」

#### 

を育てていきたいと考えている。

会社が垣根を超えて集まって、ブランドを確立しようとする取 組みは、ポストコロナに向けての効果的な選択肢の1つとなる。こ の取組みにより、県内外の方々も香川の地場産業への関心をさら に高めてもらえるのではないか。販路開拓については、かがわ産 業支援財団も支援することができるので活用していただきたい。

# 株式会社ライズエンジニアリング

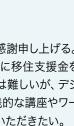
代表取締役 森山 竜志



船舶造修業、金属加工業、建設業(鋼 構造物)、アウトドア製品製造販売

コロナ禍において従業員の雇用を維持す

るため、自社の鉄加工技術を活かすことができる新規事業を模 索する中で、私自身の趣味であるアウトドア分野で鉄を使った 全く新しい製品を作ることを決めた。最初に開発した製品は持 ち運びが簡単な「たき火」用製品で、耐火ガラスを備え安全に 炎を楽しむことができる。今後は、アウトドア製品の開発だけで





なく、アウトドアの機会や場所を提供して、都会から香川県に人 を呼べる事業にまで育てていきたいと考えている。

#### 知事 ◆◆

コロナ禍のアウトドア需要の高まりを上手く捉えられていると思 う。自身の実体験や趣味を活かしたものづくりで他業種進出や新商 品開発をする取組みは、非常に効果的な手法ではないか。溶接や加 工の技術に関しては、県産業技術センターで様々な相談等に対応し ており、お気づきの点や疑問点などにお役に立てると考えている。

# 株式会社かもめや

代表取締役 小野 正人(写真左) 事業戦略室長 宮武 周平 (写真右)





陸・海・空ドローン物 流インフラサービス

令和3年8月から、三豊市詫間町の粟島と須田港の間で世界初 となる離島向けのドローンの定期航路を就航した。今後、物資輸 送だけでなく、遠隔診療の分野で医薬品や検体の輸送を、さらに は、防災や災害対応の分野でのドローンの活用を検討している。 将来的には、「空飛ぶ車(パッセンジャードローン)」の実現を目指 し、人がより自由に移動でき、香川県のどこでも不自由なく暮らせ る未来を実現したいと考えているので、県の協力をお願いしたい。

#### **▶** ◆ 知事 ◆◆

ドローンの登場で物流の既成概念が打ち破られており、さら に充実してもらいたい。県もドローンをはじめとするデジタル技 術を行政に活用してまいりたい。「空飛ぶ車」は、都市部や離島、 山間部での移動手段、災害時の救急搬送などの利活用が期待 されており、動向を注視している。実現に取り組まれることは大 変心強く、県も一緒に取り組んでまいりたい。

## 株式会社DaRETO

代表取締役 城石 果純



人材育成事業を中心とする地域開発 業務など

コロナにより主要取引先の観光業界が打撃

を受けたため、教育分野への業態転換を図ろうと、新しい事業と して、小豆島の大自然を活かし、都会の子どもたちに遊びと学び の場を提供する事業の実施に向けて準備を進めている。また、 高校でのキャリア教育にも携わり始めた。大学進学者の多くが 香川県を離れる中、高校段階で子どもたちにより幅広い職種の 大人と交流する機会を与え、県内の仕事に興味や誇りを持っても らう必要がある。そのための取組みへの支援をお願いしたい。

#### ▶ ◆ 知事 ◆ ◆

子どもの可能性を最大限に引き出すことは、私たち大人の共通の 願いである。子どもたちが自身の未来を考える上で、県においても大 学と連携した出前授業やインターンシップ等を実施しているが、幅広 い職業の魅力を生き生きと感じることのできるようにさらに考えてい く必要があり、今後の新たな取組みについて一緒に考えていきたい。

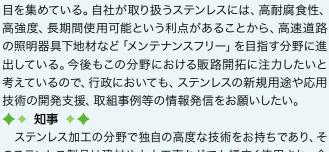
### 株式会社コマックス

常務取締役 中野 勝利



ステンレス製品製造販売





繕費用を抑えることができる「メンテナンスフリー」の製品が注

のステンレス製品は建材や土木工事などでも幅広く使用され、全 国のインフラの長寿命化に多大な貢献をされていることに敬意を 表する。県としても、展示会への出展支援に留まらず、香川県全体

の底上げのために、色々な形での情報発信を検討してまいりたい。

# 福寿産業株式会社

代表取締役会長 浅野 忠一



塗装及びエクステリア部材の加工、 組立

将来の事業継続のため、先端技術の導入を

含む経営力向上計画の認定を経済産業省から受けたほか、県の補 助を受けて災害時に備えるための「BCP」(事業継続計画)を策 定するとともに、事業承継にも取り組んだ。また、令和2年11月に、 サプライチェーン全体の共存共栄などを宣言する「パートナーシッ プ構築宣言」を行い、これらにより持続的な企業経営を目指すこ ととした。この宣言が大企業や元請企業にも受け入れられ、適正 な取引慣行が広がるよう広報活動をさらに充実してもらいたい。

#### ◆ 知事 ◆◆

先端技術を用いた設備の導入や自動化の推進、BCPの策定 などの取組みにより、中小企業庁の「はばたく中小企業・小規模 事業者300社」に選定されるなど、本県の企業がデジタル化を 推進していく上で、大変参考になる。宣言を通して、パートナー シップを尊重する機運が醸成されることは非常に重要であり、 県としても宣言の促進に努めてまいりたい。



